

経営比較分析表（平成30年度決算）

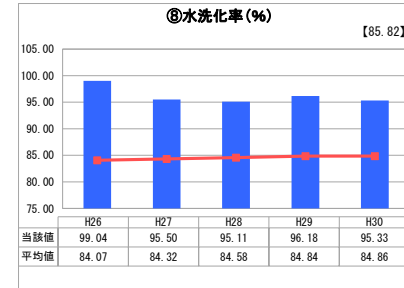
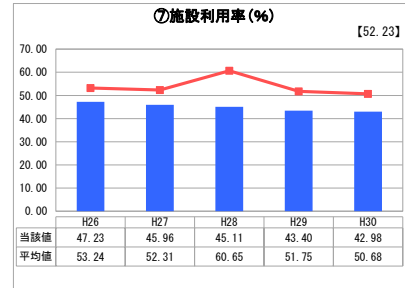
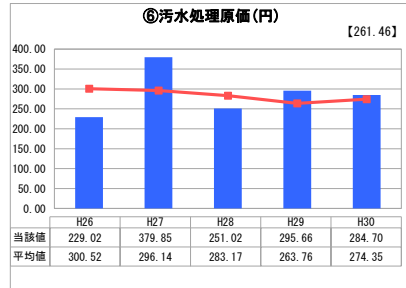
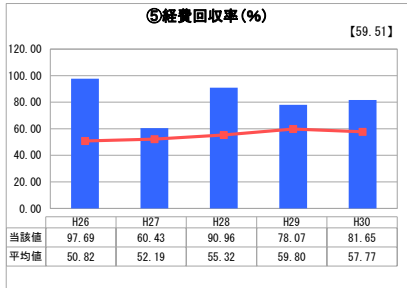
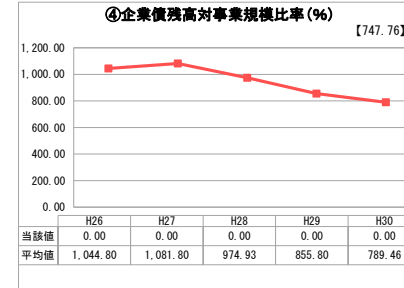
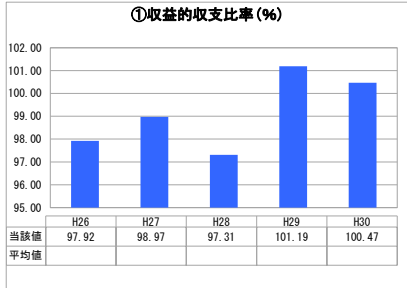
長野県 御代田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	3.17	96.93	4,536

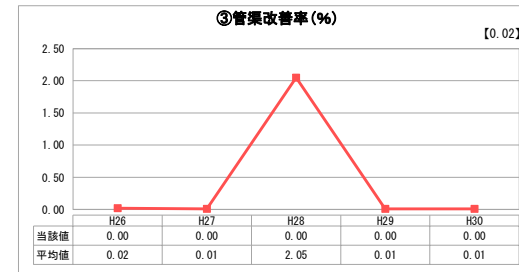
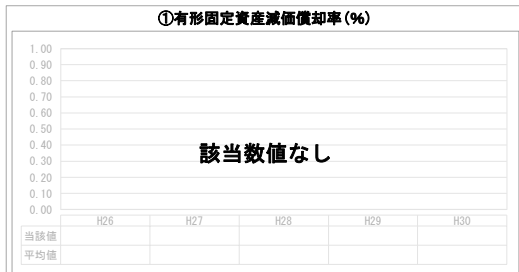
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
15,569	58.79	264.82
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
493	0.17	2,900.00

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
H28までは90%台で推移していましたが、H29より100%を超える数値となっています。今後も施設修繕等見据え、健全経営に取り組みます。
- 企業債残高対事業規模比率
企業債の償還金を一般会計からの繰入金ですべて賄っているため、数値は0となっています。
- 経費回収率
経年比較、類似団体の平均値との比較でも、高い水準で推移してきました。事業規模が小さいため、大きな修繕工事等が発生すると数値に大きく反映します。
- 汚水処理原価
経年比較では変動があるため、維持管理費を抑制していく必要があります。
- 施設利用率
流入汚水量の減少に伴い、施設利用率は年々減少傾向にあります。
- 水洗化率
90%台で推移し、類似団体の平均値との比較でも、高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設は、供用開始から20年以上経過していますが、定期的な点検作業と状況に応じた修繕を実施することで施設の延化を図っています。今後も計画的に改築更新を実施していく必要があります。

全体総括

農業集落排水処理事業を今後も継続的に実施していくために、維持管理費の更なる削減、改築更新の計画的実施による支出の平準化、適正な料金設定など総合的に取り組み、経営の健全化、効率化を目指す必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。